

オリオン座からの招待状 (2007)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンズ

製作国 日本

色彩 Color

時間 116分

初公開日 2007/11/03

公開情報 東映

【キャッチコピー】

僕ずっとオリオン座を守るさかい——

ここでいつまでも、一緒に映画（シャシン）かけてもらえますか。

【解説】

人気作家・浅田次郎の同名短編を基に、閉館を迎えた小さな映画館を取り巻く人々の人生模様をノスタルジックに綴るハートフル・ドラマ。主演は「たそがれ清兵衛」「父と暮せば」の宮沢りえ、共演に「それでもボクはやってない」の加瀬亮。監督は「MISTY」の三枝健起。

ある日、京都の小さな映画館“オリオン座”から、ゆかりの人々に一通の招待状が届く。そこには、オリオン座の閉館と謝恩最終興行開催の案内が記されていた。そしてその招待状は、かつてオリオン座を遊び場とし、その後結婚して現在は別居中の夫婦、祐次と良枝のもとにも届いていた——。昭和30年代、先代の館主・豊田松蔵が病に倒れたとき、妻のトヨは夫の遺志を継ぎオリオン座を守ることを決意する。そのトヨを一生懸命に支え続けたのは、映写技師の見習いとして先代に弟子入りした青年、仙波留吉だった。しかし、2人の関係は周囲からは格好の陰口の対象となってしまう、テレビの台頭と共に傾き始めた映画館の運営はますます苦しくなっていくが…。

【クレジット】

監督	三枝健起	
プロデューサー	佐々木亜希子	
原作	浅田次郎	『オリオン座からの招待状』（集英社刊『鉄道員』所収）
脚本	いながききよたか	
撮影	柳田裕男	
美術	花谷秀文	
編集	森下博昭	
音楽	村松崇継	
照明	宮尾康史	
録音	高橋義照	
VFXプロデューサー	岡野正広	
メイntナー	上原ひろみ	
出演	宮沢りえ	豊田トヨ
	加瀬亮	Ryo Kase 仙波留吉
	宇崎竜童	豊田松蔵
	田口トモロヲ	三好祐次（平成）
	中原ひとみ	豊田トヨ（平成）

樋口可南子
原田芳雄

三好良枝（平成）
仙波留吉（平成）